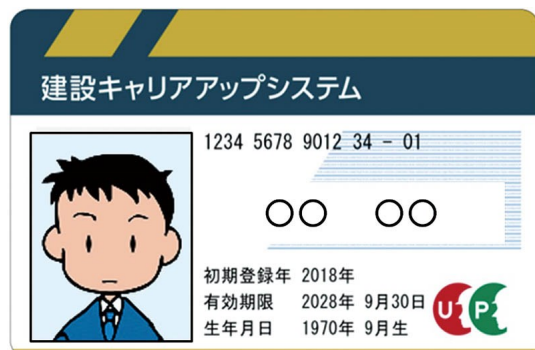


建設キャリアアップシステムの近況

2019年9月30日の登録数（ID発行数）は

- ・技能者情報登録 全 国116,290件
神奈川 8,645件
- ・事業者情報登録 全 国22,516件
神奈川 1,699件

国交省登録目標は2018～2019年度技能者100万人、事業者13万社としています。



技能者登録・事業者登録の申請状況は・・・

- ①申請の方法について、インターネット88.5%、郵送9.9%、窓口1.6%とインターネットによる申請が圧倒的に多い。
- ②都道府県別の割合では、東京、神奈川、埼玉、千葉の首都圏で技能者登録の32%、事業者登録の36%を占める。
- ③申請の不備について、当初は申請数の9割が不備だったが、申請書・手引きの改定を行い、現在は不備が約5割に改善。
- ④2019年9月現在、申請書に不備がなければ、インターネット申請、郵送申請ともにおおむね2週間で登録完了。
- ⑤現場登録は、全国6,000超の現場でカードリーダーを設置し、現場登録が完了している。

経営事項審査の審査基準の改正について・・・

9月13日に開催された国交省の中央建設業審議会において、CCUSを活用した技能者能力評価が、公共工事の入札に参加しようとする建設業者に対する、経営に関する客観的事項についての審査を行う「経営事項審査」の審査基準に導入されることが決定しています。優れた技能者を雇用する事業者が高く評価されます。（2020年4月から）
⇒レベル4と判定された技能者について、「登録基幹技能者」同等のレベルと評価し、3点の評点を付与。
⇒レベル3と判定された技能者について、「技能士1級」同等レベルと評価し、2点の評点を付与。

山梨県ははじめ地方公共団体の取り組みについて・・・

山梨県は全国に先駆けて、CCUSの技能者能力評価に関する意義をふまえ、工事発注においてCCUSの活用に取り組んでいる事業者を評価していくこととしました。
具体的には、2019年10月1日以降に公告する、総合評価落札方式による土木一式工事（県土整備部で試行）を対象として、入札参加する事業者がCCUSに登録済みで、かつその事業者が雇用する技能者が登録済みである場合に、評価点2を加点していきます。
福岡県は、今年度から建設工事の競争入札参加資格審査項目における働き方改革の推進に係わる評価項目の中で、CCUSへの事業者登録を選択項目の一つとして位置付けています。

技能者のメリット

モチベーションUP！

経験や技能に応じた処遇

経験や技能が客観的に示され、処遇改善につながります。

建設キャリアアップカードのさまざまなメリット

アピール力UP！

取引先や顧客に技能PR

カードの色で自分自身の技能レベルを正しく表示できます。

やりがいUP！

キャリアパスの「見える化」

キャリアアップに必要な経験や技能が明確になるので、目標を立てやすくやりがいにつながります。

社会保険加入状況の確認

わかりやすい！

建設技能者一人ひとりの社会保険の加入状況が確認しやすくなります。

書類作成の簡素化

かんたん！

施工体制台帳や作業員名簿の作成の手間やミスを減らせます。

生産性の向上

ぐんぐん！

能力の高い建設技能者が現場で活躍します。

事業者のメリット



賃対ニュース

建設キャリアアップシステムに登録をしよう！

—— 発行 ——
神奈川土建一般労働組合
賃金対策部長 荒井俊喜
横浜市神奈川区神奈川2-19-3
TEL 045 (453) 9806
FAX 045 (453) 9807

2018年建設・住宅企業の売上と内部留保について

大和ハウス工業は売上4兆円を超える

現在、大和ハウス工業と積水ハウスの2社はスーパーゼネコンを上回る売上規模になっています。

住宅企業最大手の大和ハウス工業は、前年度比9.2%増の4兆1435億円で昨年度比8.1%増と引き続き高成長を維持しています。その内訳は、住宅・建築系が1兆8310億円で全体の44.1%、物流施設や商業施設関連の非住宅・建築系の売上が残りの55.9%となっています。

長谷工コーポレーションが過去最高の売上

大手ゼネコン5社の売上は平均1兆7400億円で、最近3年間トップの売上を上げている大林組がはじめて2兆円を超えました。鹿島建設も2兆円近くの売上となっています。また、準大手の長谷工コーポレーションが8909億円で過去最高の売上高を記録しています。

内部留保もさらに上積み

2018年度主要ゼネコン22社の内部留保は4兆8543億円にのぼり、前年度比6069億円（14.3%）の増加となっています。大手ゼネコン5社の内部留保は、2012年の1兆4516億円から2兆9700億円と倍増しています。また、財務省の2018年度法人企業統計によると、全企業の内部留保（利益剰余金）は463兆1308億円となり、7年連続で過去最大を更新しています。

大手ゼネコン5社の直近5年間で増えたものと技能者賃金との対比

下表のように、大手5社の営業利益総額は5年間で355%アップ、株主配当金も5年間で322%アップになっています。大手5社職員の平均給与額も1千万円を超え、業績好調を反映しています。しかし、現場で働く技能者の賃金日額平均は5年間で6.7%しかアップしておらず、この好調な業績の要因の一部は、下請技能者の労務賃金を低く抑え込んで得たものは明らかです。

将来も建設業が持続していくためには、「技能者への投資」を増やし、若者が入職できる環境整備が必要です。

	2013年度（百万円）	2018年度（百万円）	アップ率
大手5社営業利益総額	1,463億50百万円	6,662億12百万円	355.2%
大手5社配当金総額	258億17百万円	1,090億37百万円	322.3%
大手5社内部留保総額	1兆5,708億76百万円	2兆9,704億42百万円	89.1%
大手5社平均年間職員給与	8,736,200円	10,562,900円	20.9%
建設技能者賃金日額（4土建平均）	16,310円	17,400円	6.7%

賃金アンケート仲間の声から

今年の賃金アンケートに寄せられた 貴重なご意見を紹介します。

職場環境の悪さ 休憩所やトイレが管理されていない現場も多く、ストレスが多くあります。賃金問題も重要だが、最低限、働く環境が整っていなければ、労働者の定着や確保は難しくなっていくと思う。

クロス工・24歳・常用

土曜日は休みなし。祝日も休みがない。仕事があつての生活だが、家族との時間も大切にしたい。厚生年金でないため老後の生活が不安。元請企業からの単価は下がる、材料の値段は上がる、事業所が苦しいのも理解できる。

設備工・28歳・労働者

建築作業員に払う賃金が少なすぎる。上がもらいすぎだ。

電工・34歳・労働者

1日8時間週休2日をとっても普通に暮らせるくらいの賃金がほしい。

ガス配管工・35歳・労働者

若年層を雇い入れたいと思っている人がいない。横浜市在住だが、市内の仕事の方が効率がいいと思う。同じ金額で都内に出ると高速代や駐車代が全然違うので、市内で仕事がしたい。

配管工・38歳・事業主

働き方改革で休みが増えても給料が減り生活できなくなる。

内装工・40歳・手間請け

駐車料金が高すぎる。会社から支払われるが、日々の立替が長期になると大変。都内は異常に高いので国が規制してほしい。オリンピック関連の現場が多いですが、行きたくない。

内装工・43歳・労働者

土曜休みなのできつい、賃金アップしてほしい。

電工・45歳・常用

外部作業が多い為、夏は暑く、冬は寒いのに、単価が安く、仕事の内容と賃金が合わないと思います。賃金2万円。休憩含む労働9時間。燃料代と駐車代は各1万円。

タイル工・45歳・手間請け

7月から土日全休になったが、常用や手間代を上げてくなくては税金、保険料などが払えない。

内装工・45歳・一人親方

単価が下げ止まるギリギリまで落ちてこのまま変わらないでしょう。若者がかわいそう。別業種を勧める。

屋根工・51歳・手間請け

年度末に現場を詰め込み、4～6月に仕事が無く困っている。会社の売上が少ないと言って年度末に集中させ、工務店や職人が足りず、突貫工事をし手直しをしていく。元請の上層部はお金、売り上げの事しか頭に無い感じ。一度赤字決算でもして、平均的に仕事が出来る環境を作ってほしいと監督には言っているが、声が届かないので、組合の力で何とかしてほしい。

内装工・53歳・一人親方

社会保険ははらえません。借金まみれです。早く死にたい。

サッシ工・53歳・常用

2次下請けをしているが、法定福利費を要求しても、もらえない。交通費、高速料も請求してもらえない。

内装工・55歳・一人親方

相手先が町場の大工さんなので大手の建設会社と違って法定福利費や工事単価の引き上げ要求は難しい。

設備工・69歳・事業主

従業員が欲しいときいない。駐車場がないからみんな早めに現場に到着しているが、1～2時間は待機している。

型枠大工・70歳・事業主

2019年賃金アンケート速報結果

職種	集計人数	年齢(歳)	経験年数(年)	1日の賃金(円)	前年同月の1日の賃金	前年同月との差	2018年の収入(円)	労働時間(時間)
大工	275	56.1	34.5	18,386	17,507	879	4,339,383	8.6
左官	69	58.0	36.6	16,535	16,553	-19	4,187,500	8.4
塗装	179	45.6	23.0	17,143	16,757	387	4,178,500	8.4
電工	154	50.6	25.6	17,920	17,615	305	4,852,083	8.3
鳶	86	40.8	17.0	17,075	16,816	260	5,024,345	8.4
土木(普通作業員)	66	50.8	25.1	15,592	15,268	324	3,952,667	8.3
配管	105	49.0	22.6	17,502	16,641	861	4,432,402	8.4
鉄筋	36	42.4	18.8	15,554	14,729	825	3,859,375	8.6
鉄骨	13	53.5	28.0	16,231	16,482	-251	4,607,692	8.5
タイル	17	54.5	31.4	17,118	17,388	-271	4,327,353	8.5
板金	22	55.7	33.7	16,746	16,306	440	4,275,000	8.2
型枠大工	93	51.1	29.2	16,453	16,203	250	4,225,000	8.3
内装	45	46.8	22.5	18,027	17,654	373	4,867,317	8.5
造園	37	50.3	22.8	16,728	15,394	1,334	3,910,606	8.3
防水	37	45.1	20.5	16,670	17,156	-486	4,532,143	8.7
設備(ダクト)	54	50.5	24.5	17,913	17,042	871	4,123,200	8.3
総計	1,288	50.0	26.0	16,975	16,594	380	4,355,910	8.4

表1 常用労働者（日給月払い）賃金調査結果

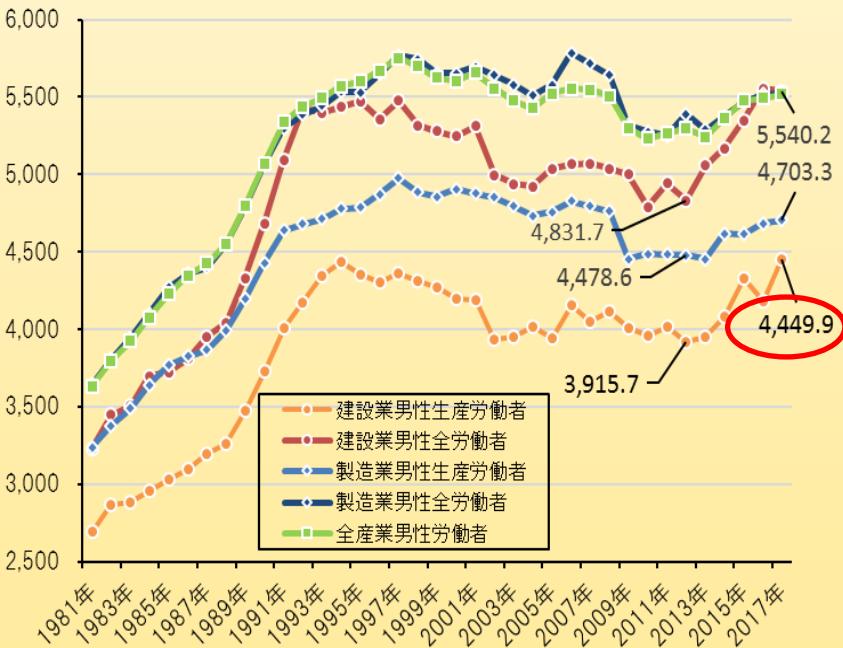


表2 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」（10人以上の常用労働者を雇用する事業所）
※ 年間賃金総支給額＝きまって支給する現金給与額×12＋年間賞与その他特別給与額

	有効回答数	平均(円)	平均(万円)
20～24歳	18	3,521,111	352
25～29歳	81	4,098,148	410
30～34歳	104	4,263,654	426
35～39歳	141	4,479,504	448
40～44歳	169	4,600,663	460
45～49歳	207	4,804,749	480
50～54歳	174	4,550,460	455
55～59歳	121	4,562,314	456
60～64歳	112	4,320,089	432
65歳以上	290	3,830,845	383
無回答	6	3,433,333	343
合計	1,423	4,358,166	436

表3 常用労働者昨年末での年収（年齢別）

神奈川土建では、毎年6月に賃金アンケートを実施しています。その暫定の結果の一部を報告いたします。

集約数は、全20支部で5583通の集約となり、昨年度比10.9%増となりました。その中で、常用労働者の1日当たりの賃金額（表1）は16,975円、平均年齢は50.0歳、平均年収435万円、日額では、昨年度比+380円で微増となりました。

組合では、毎月横浜市庁舎の現場で賃金調査をしています。組合員以外の調査でも1日15,000～18,000円が多数を占めます。公共工事設計労務単価は2012年度から48%も引き上げられていますが、建設現場で働く仲間の賃金は、

2012年からわずか2,000円強・14%弱のアップに留まっており、設計労務単価とのかい離は9,000円を超える差となっています。

常用労働者の年収435万円は、厚生労働省調査の建設業男性生産労働者年収と約10万円の差があります（表2）。また、年収は25歳代平均で400万円台に到達しますが、その後、64歳代まで年収400万円台で推移し、技能と経験が反映されるような賃金カーブにはなっていません（表3）。

今後はじまるCCUSの能力評価と就業履歴が、この賃金カーブを変える一翼になるよう、処遇改善を求めて賃金運動を継続していきましょう。